

## ■ESMPRO/ServerAgentService(Linux) 内部ログ情報

2019/09

補足事項											
1) ESMPRO/ServerAgentServiceのログに関する仕様は下記のとおりであり、仕様は変更できません。 2) サーバーの構成・環境 (ESMPRO/ServerAgentServiceバージョン)により、存在しないファイルがあります。非サービスモードの場合、非サービスモードの項目が「なし」のファイルは作成されません。 3) ログの内容は内部仕様に関わるため、詳細は記載しており、情報を提示することもできません。 4) ログファイルは削除しないでください。ESMPRO/ServerAgentServiceの動作への影響や障害を調査するときに原因が特定できない場合があります。 5) テキスト形式のログファイルはサービスコマンド動作時の文字コードEUC-J、UTF-8に依存します。											
ログファイル名	概要	サービス モード	非サービス モード	ファイル サイズ 上限	形式	文字コード	ローテーションのタイミング	世代数	ローテーション後のファイル名	備考	ログ削除について 調査に必要な情報が含まれるため、基本的に削除されないようお願いします。 削除されている場合、調査に影響がある場合があります。
/opt/nec/esmpro.sa/log											
AMCRTCOPY.LOG	通報テーブルの導入と削除に関するログ	あり	なし	なし	テキスト	UTF-8	ログファイルが存在する場合、ログファイルを削除し、新規にログファイルを作成する。	なし	なし	通報テーブルの導入と削除するときにログに記録する。通報テーブルの格納先は以下です。 通報データ作成コマンドを実行するとログに記録する。	ログを削除できます。
amrtcopy.log	通報データ作成コマンドプロセス名: amrtcopy)に関するログ	あり	なし	4MB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ローテーションする。 *log.5まで存在する場合、*log.5は削除し、ローテーションする。	5世代	amrtcopy.log.1 ~ amrtcopy.log.5	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。	
cimcil.log	cimserver接続用モジュールに関するログ	あり	なし	4MB	テキスト	UTF-8			cimcil.log.1 ~ cimcil.log.5	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。	
cpuperf.log	CPU負荷情報・監視プロバイダ(クラス名: ESM_Processor)に関するログ	あり	なし	4MB	テキスト	UTF-8			cpuperf.log.1 ~ cpuperf.log.5	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。	
ESMagentconf.log	監視設定コマンドプロセス名: ESMagentconf)に関するログ	あり	なし	4MB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ローテーションする。 *log.1存在する場合、*log.1は削除し、ローテーションする。	1世代	ESMagentconf.log.1	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。	
ESMamsadm.log	通報設定コマンドプロセス名: ESMamsadm)に関するログ	あり	なし	4MB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ローテーションする。 *log.5まで存在する場合、*log.5は削除し、ローテーションする。	5世代	ESMamsadm.log.1 ~ ESMamsadm.log.5	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。	
esmamset.log	コンフィグレーションツール(プロセス名: esmamset)に関するログ	あり	なし	4MB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ログファイルを削除し、新規にログファイルを作成する。	なし	なし	ログを削除できます。	
ESMamvmain.log	Syslog監視・通報サービス(プロセス名: ESMamvmain)に関するログ	あり	なし	4MB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ローテーションする。 *log.5まで存在する場合、*log.5は削除し、ローテーションする。	5世代	ESMamvmain.log.1 ~ ESMamvmain.log.5	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。	
ESMmcmn.log	監視スレッド起動・停止サービス(プロセス名: ESMmcmn)に関するログ	あり	なし	4MB	テキスト	UTF-8			ESMmcmn.log.1 ~ ESMmcmn.log.5	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。	
esmdata.log	ESMPRO/ServerAgentService)に関するログ	あり	あり	16MB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ログファイルを削除し、新規にログファイルを作成する。	なし	なし	ログを削除できません。	
esmfms.log	ファイルシステム情報・監視プロバイダ(クラス名: ESM_FileSystem)に関するログ	あり	あり	4MB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ローテーションする。 *log.5まで存在する場合、*log.5は削除し、ローテーションする。	5世代	esmfms.log.1 ~ esmfms.log.5	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。	
ESMmenu.log	ESMPRO起動メニューコマンド(プロセス名: ESMmenu)に関するログ	あり	なし	4MB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ローテーションする。 *log.1存在する場合、*log.1は削除し、ローテーションする。	1世代	ESMmenu.log.1	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。	
ESMntagent.log	SNMP通報サービス(プロセス名: ESMntagent)に関するログ	あり	なし	10MB	テキスト	UTF-8			ESMntagent.log.1 ~ ESMntagent.log.5	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。	
ESMntserver.log	基幹サービス(プロセス名: ESMntserver)に関するログ	あり	なし	4MB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ローテーションする。 *log.5まで存在する場合、*log.5は削除し、ローテーションする。	5世代	ESMntserver.log.1 ~ ESMntserver.log.5	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。	
ESMPProvider.log	ESMPROプロバイダ メイン部に関するログ	あり	あり	4MB	テキスト	UTF-8			ESMPProvider.log.1 ~ ESMProvider.log.5	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。	
ESMRestart.log	ESMPRO/ServerAgentServiceの再起動コマンド(プロセス名: ESMRestart)に関するログ	あり	なし	なし	テキスト	UTF-8	ローテーションしない。	なし	なし	ESMPRO/ServerAgentの再起動コマンドを手動で実行する時にのみログを記録する。 /opt/nec/esmpro.sa/bin/ESMRestart	ログを削除できます。
esmsmfmlw.log	BMC対応機種: SEL監視サービス(プロセス名: ESMmserv)に関するログ ILO対応機種: IML監視サービス(プロセス名: ESMmserv)に関するログ	あり	なし	BMC対応機種: 4MB ILO対応機種: 512KB	テキスト	UTF-8	BMC対応機種: ファイルサイズが上限に達した場合、ローテーションする。 *bak.4まで存在する場合、*bak.4は削除し、ローテーションする。 ILO対応機種: ファイルサイズが上限に達した場合、ローテーションする。 *log.2まで存在する場合、*log.2は削除し、ローテーションする。	BMC対応機種: 5世代 ILO対応機種: 2世代	BMC対応機種: esmsmfmlw.bak ~ esmsmfmlw.bak.4 ILO対応機種: esmsmfmlw.log.1 ~ esmsmfmlw.log.2	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。	
esmsmsel.log	BMC対応機種: SEL監視サービス(プロセス名: ESMmserv)に関するログ ILO対応機種: IML監視サービス(プロセス名: ESMmserv)に関するログ	あり	なし	BMC対応機種: 100KB ILO対応機種: 64KB	BMC対応機種: バイナリ ILO対応機種: テキスト	BMC対応機種: - ILO対応機種: UTF-8	BMC対応機種: ファイルサイズが上限に達した場合、および、Baseboard Management Controller (BMC) の System Event Log (SEL) レコード件数、または、SEL容量によって、ローテーションする。 *dat.4まで存在する場合、*dat.4は削除し、ローテーションする。 ILO対応機種: ファイルサイズが上限に達した場合、ローテーションする。 *log.4まで存在する場合、*log.4は削除し、ローテーションする。	BMC対応機種: 5世代 ILO対応機種: 4世代	BMC対応機種: esmsmsel.dat ~ esmsmsel.dat.4 ILO対応機種: esmsmsel.log.1 ~ esmsmsel.log.4	BMC対応機種: ローテーションしたファイルは /opt/nec/esmpro.sa/data配下に格納します。 ILO対応機種: ローテーションしたファイルは /opt/nec/esmpro.sa/log配下に格納します。	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。
ESMmserv.log	BMC対応機種: SEL監視サービス(プロセス名: ESMmserv)に関するログ ILO対応機種: IML監視サービス(プロセス名: ESMmserv)に関するログ	あり	なし	4MB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ローテーションする。		ESMmserv.log.1 ~ ESMmserv.log.5	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。	
esmsstrg.log	ストレージ情報・監視プロバイダ(クラス名: ESM_Storage)に関するログ	あり	あり	4MB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ローテーションする。 *log.5まで存在する場合、*log.5は削除し、ローテーションする。	5世代	esmsstrg.log.1 ~ esmsstrg.log.5	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。	
esmsysrep.log	コンフィグレーションツール(プロセス名: esmsysrep)に関するログ	あり	なし	4MB	テキスト	UTF-8			esmsysrep.log.1 ~ esmsysrep.log.5	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。	
general.log	ESMPRO情報プロバイダ(クラス名: ESM_GeneralInformation)に関するログ	あり	あり	4MB	テキスト	UTF-8			general.log.1 ~ general.log.5	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。	
install_python-library.log	ILO対応機種: Pythonライブラリをインストールすると、出力メッセージに関するログ	あり	なし	なし	テキスト	UTF-8	ローテーションしない。	なし	なし	ILO対応機種で ESMPRO/ServerAgentServiceをインストールまたはアップグレードする時にのみログを記録する。	ログを削除できます。
ioclt_test.log	IOCTLコマンド発行ツール(プロセス名: ioclt_test)に関するログ	あり	なし	4MB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ログファイルを削除し、新規にログファイルを作成する。	なし	なし	障害情報採取ツールを実行した時にログを記録する。 /opt/nec/esmpro.sa/tools/collectsa.sh	ログを削除できます。
ipmi.dat	SEL/SDR/FRU/SMBIOS情報	あり	なし	なし	バイナリ	-	ログファイルが存在する場合、ログファイルを削除し、新規にログファイルを作成する。ファイルサイズの上限はありませんが、装置の構成により異なりますが、40KB程度のログファイルを作成する。	なし	なし	障害情報採取ツールを実行した時にログを記録する。 /opt/nec/esmpro.sa/tools/collectsa.sh	ログを削除できます。
libconf.log	ESMPROプロバイダ 監視設定モジュールに関連するログ	あり	あり	4MB	テキスト	UTF-8			libconf.log.1 ~ libconf.log.5	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。	
libstdaler.log	ESMPROプロバイダ 通報共通モジュールに関連するログ	あり	あり	4MB	テキスト	UTF-8			libstdaler.log.1 ~ libstdaler.log.5	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。	
memperf.log	物理メモリ情報・監視プロバイダ(クラス名: ESM_PhysicalMemory)に関するログ	あり	あり	4MB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ローテーションする。 *log.5まで存在する場合、*log.5は削除し、ローテーションする。	5世代	memperf.log.1 ~ memperf.log.5	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。	
monitor.log	プロバイダ常驻スレッド監視モジュール(プロセス名: ESMMonitor)に関するログ	あり	なし	4MB	テキスト	UTF-8			monitor.log.1 ~ monitor.log.5	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。	
network.log	ESMPRO情報プロバイダ(クラス名: ESM_Network)に関するログ	あり	あり	4MB	テキスト	UTF-8			network.log.1 ~ network.log.5	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。	
pferf.log	パフォーマンス情報・監視プロバイダ(クラス名: ESM_PageFile)に関するログ	あり	あり	4MB	テキスト	UTF-8			pferf.log.1 ~ pferf.log.5	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。	

ディレクトリ名	概要	サービスモード	非サービスモード	ファイルサイズ上限	形式	文字コード	ローテーションのタイミング	世代数	ローテーション後のファイル名	備考	調査に必要な情報が含まれるため、意図的に削除されないようお願いします。削除されている場合、調査に影響がある可能性があります。
ログファイル名 (A-Z順)											
PPLink.log	通報テーブルの導入と削除に関するログ	あり	なし	50KB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ログファイルを削除し、新規にログファイルを作成する。	なし	なし	通報テーブルの導入と削除するときログに記録する。通報テーブルの格納先は以下です。	ログを削除できません。
reduce.log	CPU・メモリ縮退監視スレッド(プロセス名: ESMonrn)に関するログ	あり	なし	4MB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ローテーションする。 *log.5まで存在する場合、*log.5は削除し、ローテーションする。	5世代	reduce.log.1 ~ reduce.log.5	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。
video.log	ESMPRO情報プロバイダ(クラス名: ESM.Video)に関するログ	あり	あり	4MB	テキスト	UTF-8			video.log.1 ~ video.log.5	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。	
vmperf.log	仮想メモリ情報・監視プロバイダ(クラス名: ESM.VirtualMemory)に関するログ	あり	あり	4MB	テキスト	UTF-8			vmperf.log.1 ~ vmperf.log.5	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。	
xrasutil.log	ESRASユーティリティ(プロセス名: xrasutil)に関するログ	あり	なし	4MB	テキスト	UTF-8			xrasutil.log.1 ~ xrasutil.log.5	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。	
/etc/esmpro/											
Esmpro-Cmnsvr.log	Esmpro-Cmnsvrパッケージのインストールに関するログ	あり	なし	なし	テキスト	UTF-8	ローテーションしない。 RPMパッケージをインストールする時に、ログファイルが存在する場合、ログファイルを削除し、新規にログファイルを作成する。	なし	なし	ログを削除できません。	ログを削除できません。
Esmpro-Expsrv.log	Esmpro-Expsrvパッケージのインストールに関するログ	あり	なし	なし	テキスト	UTF-8	RPMパッケージをアップグレードする時は、アップグレード情報をログファイルに追記する。 ファイルサイズの上限はありませんが、1回につき1.3KB程度の情報をログファイルに記録する。		なし	ログを削除できません。	
Esmpro-Provider.log	Esmpro-Providerパッケージのインストールに関するログ	あり	あり	なし	テキスト	UTF-8	ローテーションしない。 RPMパッケージをインストールし、アップグレードすると、80BByte程度のログを記録する。		なし	ログを削除できません。	
Esmpro-Selsrv.log	Esmpro-Selsrvパッケージのインストールに関するログ	あり	なし	なし	テキスト	UTF-8	ローテーションしない。 RPMパッケージをインストールし、アップグレードすると、80BByte程度のログを記録する。		なし	ログを削除できません。	
Esmpro-strgfs-Provider.log	Esmpro-strgfs-Providerパッケージのインストールに関するログ	あり	あり	なし	テキスト	UTF-8	ローテーションしない。 RPMパッケージをインストールし、アップグレードすると、80BByte程度のログを記録する。		なし	ログを削除できません。	
esmrest.log	esmrestパッケージのインストールに関するログ	あり	なし	なし	テキスト	UTF-8	ローテーションしない。 RPMパッケージをインストールし、アップグレードすると、80BByte程度のログを記録する。	なし	なし	ログを削除できません。	ログを削除できません。